

◇「ありがとう」について

2年生では、5月のテーマとして『ありがとう』について考えました。

○「ありがとう」の数だけ賢くなるのはどうしてか？

(生徒の意見から)

- ・「ありがとう」と言ったら、自分も相手も気持ち良くなる。毎日親に感謝しているけれど「ありがとう」が言えてない。これからは言葉で感謝の気持ちを伝えたい。
- ・「ありがとう」というと、自分が素直になれ、コミュニケーションもとれるなと思った。
- ・「ありがとう」という時がわかると、あたりまえのことがあたりまえではなくなる。「ありがとう」を言うのをあたりまえにしたい。いろいろなことを気づける人になりたい。
- ・「ありがとう」は自分も成長でき、相手の心もあたたかくなるすてきな言葉。今は家族にも言うように心がけている。続けようと思う。
- ・叱られた時こそ「ありがとう」が言えたら、叱ってくれる人の思いがわかり改善するという気持ちの表れだから、ありがとうの数だけ賢くなれると思った。

(学年主任から)

「ありがとう」には3つの種類があると言うのを聞いたことがあります。1つ目は誰かに何かをしてもらった時に言う「ありがとう」です。2つ目はあたりまえのことに対する「ありがとう」です。日常生活を送れることの有り難さを忘れないでほしいです。そして3つ目は人生の試練に対する「ありがとう」です。これを理解するのは大人でも難しいことです。なぜ試練に対して「ありがとう」なのか、このことについてもこれから生徒たちと一緒に考えていきたいと思ひます。

e とくしま財団による情報モラル教室

6月2日(金)



私たちは、便利で豊かな生活を満喫していますが、スマートフォンや携帯電話等の使い方を誤ってしまうと様々なトラブルにつながり、時間と場所を省みずに使っていると依存症につながることもあります。情報の発信や受信は、個人の自由に任されていますが、ネット上での情報は、世界中とつながっており大きな責任が伴います。



情報モラル教室では、ルールを守り、互いを尊重した情報の交信や通話が重要であることや、自分でルールを決めて使うことの大切さを学びました。家庭と学校が連携し、より良い使い方ができるよう支援していきましょう。

スマホ・携帯電話の使い方 鳴門市教育委員会・鳴門市児童生徒校外補導連盟幹事会より

1 人を傷つける書き込みや画像を送らない
自他を尊重し、社会の迷惑にならないよう善悪の判断をしよう。

2 「ながら操作」をしない
自転車、歩行など、「ながら操作」をやめよう。

3 個人情報を書きこまない
人の顔が映った写真・動画も個人情報です。一度ネット上に出ると、消せません。悪用されることもあります。絶対にアップしないようにしましょう。

4 フィルタリング機能を付ける
被害者にも加害者にもならないようサイバー犯罪や性犯罪などから身を守ろう。